

コレクション大公開

相原 求一朗展 アンコール

2021年1月23日(土)～3月21日(日)

- 開館時間 午前9時～午後5時（入場は午後4時30分まで）
- 休館日 月曜日
- 観覧料 一般500円 大学・高校生250円 中学生以下無料
*身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をご持参の方、及びその介護者1名は無料
*「川越きもの日」にちなみ毎月8、18、28日に着物で来館された方は観覧料2割引でご覧いただけます
（一般400円、大学・高校生200円）
- 主催 川越市立美術館

新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力ください

- 体調のすぐれない場合はご来館をお控えください
- ご入館時に手指消毒、検温、入館票のご記入をお願いします
（入館票は当館ウェブサイトからダウンロードできます⇨）
- 館内ではマスクの着用をお願いします
- 混雑時には入場制限をさせていただく場合があります
- 団体でのご来館はご遠慮ください



ご来館の際は、最新の開館状況および注意事項を当館ウェブサイトまたはお電話にてご確認ください

あらためて探る
原風景のエッセンス。

川越市立美術館

KAWAGOE CITY ART MUSEUM

〒350-0053 埼玉県川越市郭町2丁目30-1 TEL 049-228-8080 FAX 049-228-7870 <https://www.city.kawagoe.saitama.jp/artmuseum/>

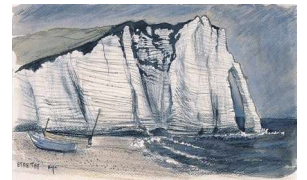
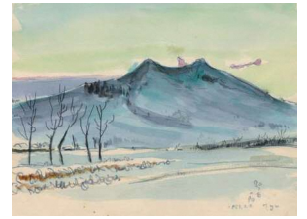
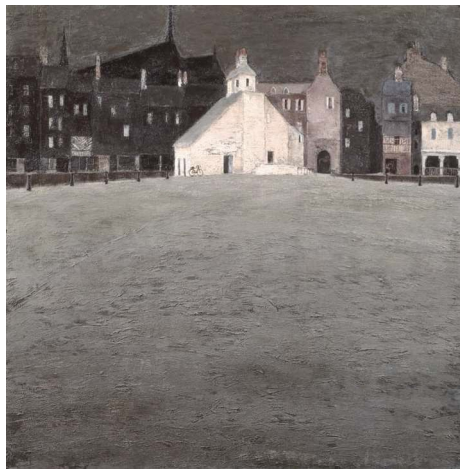
コレクション大公開

相原 求一郎展 アンコール

北海道をテーマに抒情的な風景画を描き続けた相原求一郎(1918-99)の生誕100年・歿後20年を記念した回顧展が、2018年から2019年にかけて川越・札幌・軽井沢を巡回しました。同展をきっかけに相原芸術に魅了されたファンは全国に広がり、アンコールの声をたびたびいただくようになりました。そこでこのたびは、当館の所蔵作品で改めて相原の画業をたどる展覧会を開催いたします。

川越に拠点を置きながら、相原は毎年のように北海道を訪れ、心を揺さぶる風景を探し求めました。それは、戦時中の4年半を過ごした広大で寂寥とした満州の記憶を、北の大地に重ね合わせる行為でもありました。モノクロームの色調で描き留められた風景画は、理想化された相原の原風景と言ってよいでしょう。

本展では、昨年コレクションに加わったスケッチやデザインを含めた約50点を通して、相原の創作意欲をかき立てた原風景のエッセンスを探ります。館蔵の相原作品を一挙に公開するのは開館以来初となります。この機会にどうぞご高覧ください。



①	⑤
②	⑥
③	⑦
④	

- ① 自転車のある風景 1973年
- ② 岬の家 1974年
- ③ すけそうだら詩(ノサップ) 1968年
- ④ 白樺の森 1995年
- ⑤ 銭函 1975年
- ⑥ 北海道旅行スケッチ11 駒ヶ岳の朝 1951年
- ⑦ エトルタ 1979年

表面 厳冬月淡く(部分) 1992年



この展覧会は写真撮影ができます
#相原展

次回展覧会 | 花村えい子と漫画(予定) 2021年4月24日(土)~6月13日(日)

交通案内

- 東武東上線・JR埼京線(川越線)「川越駅」から
 - 西口2番のりば「小江戸巡回バス」で「博物館美術館前」下車(所要時間20分)
 - 東口3番のりば「小江戸名所めぐりバス」で「博物館前」下車(所要時間20分)
 - 東口7番のりば東武バス「川越運動公園/埼玉医大/上尾駅西口」ゆき「市役所前」下車徒歩5分
 - 東口1・2・4・5・6番のりば東武バス「蔵のまち」経由で「札の辻」下車徒歩8分
 - 西武新宿線「本川越駅」から
 - 「小江戸巡回バス」で「博物館美術館前」下車(所要時間15分)
 - 5番のりば東武バス「川越運動公園/埼玉医大/上尾駅西口」ゆき「市役所前」下車徒歩5分
 - 5番のりば東武バス「蔵のまち」経由で「札の辻」下車徒歩8分
- ※「川越市自転車シェアリング」も便利です(ステーション15「博物館・美術館」)



川越市立美術館
KAWAGOE CITY ART MUSEUM

〒350-0053 埼玉県川越市郭町2丁目30-1
TEL 049-228-8080 FAX 049-228-7870
https://www.city.kawagoe.saitama.jp/artmuseum/